

令和7年度

地方創生道整備推進交付金事業

市道鴨居線

道路改良工事 仕様書

事業主体 広島県庄原市

施行箇所 庄原市東城町帝釈山中

工 事 概 要

工 事 名	市道鴨居線 道路改良工事						
施 行 箇 所	広島県 庄原市東城町帝釈山中						
工 事 概 要	費目工種	工 種	種 別 ・ 細 別	数 量		単 位	摘 要
				当 初	変 更		
	道路改良工事						
		延長	L=	140.0		m	
		幅員	W=	3.0		m	
		土工	掘削	30		m3	礫質土
			盛土	10		m3	
			残土処理工	40		m3	
		法面工	張コンクリート 施工厚7cm	81		m2	
		路側工	練積ブロック 控え35cm 裏コン10cm	32		m2	
		排水構造物工	L型側溝 300型	74		m	
		構造物撤去工	アスファルト殻	7		t	
		舗装工	下層路盤工 RC40 9cm	28		m2	
			上層路盤工 M30 7cm	28		m2	
			表層工 再生AS13mm 3cm	296		m2	
			再生AS13mm 4cm	28		m2	
		道路付属施設	視線誘導標 Φ300mm・片面	5		本	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、**市道 鴨居線 道路改良工事** に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書（令和7年8月 広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
 - ※ 土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。 <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第2節 適用除外

- 本工事では、土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。
- ・ 1-1-2-14 施工管理 1. 標示板の設置
 - ・ 1-1-3-7 契約後VE工事
 - ・ 1-1-3-9 県産木材の活用
 - ・ 3-1-1-7 工事完成図書の納品 6. 地質調査の電子成果品等

第3節 用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等		特記仕様書第1章総則で読みかえる用語等	
1-1-1-2 用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1 適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2 用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2 用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則（平成17年3月31日規則第47号）
1-1-2-2 用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2 用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5 工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5 工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5 工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5 工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

第4節 現場代理人の兼務

- 1 受注者は、請負代金額が4,500万円（建築一式工事にあつては、9,000万円）未満に該当することにより現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場に

おける現場代理人又は技術者等との兼務を申請することができる。

ただし、令和7年4月3日付「災害復旧工事における特例措置」の期間にあっては、兼務制限の件数から災害復旧工事を除くこととする。

- (1) 兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること
 - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め3件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること
 - (3) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること
 - (4) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 2 受注者は、前項に掲げるほか、密接に関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第2項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められたものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であつて、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。
- (1) 同一の主任技術者による管理が認められた公共工事であること
 - (2) 兼務する工事件数が本件工事を含め2件以内であること
 - (3) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、兼務の承認を取消すものとする。
- (1) 兼務に関する事項で、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (2) 著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき
 - (3) その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

第 5 節

現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置要件の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。

一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。

 - (1) 下請契約金額の総額が 5,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
 - (2) 請負代金額 4,500万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者を専任配置する。
 - (3) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満）は、この工事を含めて3件までとする。
 - (4) 請負金額が 4,500万円以上 1億円未満の工事で建設業法施行令第27条第2項が適用される工事にあつては、主任技術者が兼務できる工事件数は、この工事を含めて2件以内とする。
- 2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の誓約書の取り扱いについては、土木工事共通仕様書 1-1-3-3 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」によらず、次のとおり取り扱う。

「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。

 - (1) 請負代金額が 4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書。

(2) 請負代金額が 500万円以上 4,500万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合

配置する主任技術者又は監理技術者について、次の〔1〕又は〔2〕に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在3件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書。

〔1〕 500万円以上 4,500万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上 9,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者

〔2〕 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

第 6 節 情報共有システム

本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合に限り、情報共有システムを利用することができる。なお、利用することとなった場合には土木工事共通仕様書 1-1-1-26 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第 7 節 工事現場の現場環境改善費

本工事は、現場環境改善及び地域連携に資する経費に関して、設計計上を行っており、実施については土木工事共通仕様書 1-1-3-10 工事現場の環境改善等に従うこと。

第 8 節 週休二日制工事

本工事は、週休二日制工事（受注者希望型）であり、「庄原市週休二日制工事实施要領」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「週休二日制工事希望届出書」、「休日取得工程表」、「休日取得状況表」は、「庄原市HP＞市政情報＞入札・契約・公売＞各種様式（建設工事等の入札・契約関係）＞建設工事関係」に掲載している。

第 9 節 工事関係書類の事前協議（情報共有システム利用工事に限る。）

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和2年11月（令和7年8月改定）広島県」に記載のある「2 工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

第 10 節 遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

1 「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、積算基準書等の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

- 2 受注者は、遠隔地から労働者を確保する場合、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。
- 3 最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

- 5 実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、積算基準書等に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。
- 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- 7 疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 8 本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。
 - (1) 共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合： 9.19%
 - (2) 現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合： 1.24%

第 1 1 節

法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第 1 2 節

建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書 1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、
「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

1.2 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

1.3 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 材料

第1節 寒中コンクリート

当該工事における次の対象構造物は寒中コンクリートとして施工し、次のとおり取り扱うこと。

1 対象構造物

令和7年12月1日から令和8年2月28日までの期間に施工するコンクリート構造物。
ただし、ダムコンクリート（砂防ダムを除く）、トンネル坑内、場所打ちコンクリート杭、均しコンクリートは除く。

2 養生方法

養生方法は給熱養生を標準とし、詳細については監督職員と協議すること。

3 打設数量の確認

対象構造物のコンクリート打設数量については、施工後、打設図等の数量確認資料を作成し監督職員へ提出すること。

第3章 施工条件

第1節 盛土

1 流用土（工事内流用）

本工事の施工により発生する土のうち、25 m³（地山土量）については当該工事に流用するものと見込んでいる。

第2節 建設副産物

1 建設発生土〔搬出〕

当該工事により発生する建設発生土は、次の指定地に搬出するものとする。

搬出場所

庄原市東城町久代 市道久代中央線 道路改良工事（令和7年度改良区間）

建設条件

・搬出前に、搬出土の確認を行うこと。搬出先現場代理人と調整を行うこと。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定により難しい場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第4章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

- 2 事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。
- 3 本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

令和 7 年度

市道鴨居線道路改良工事

庄原市東城町帝釈山中

地内

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

工 事 費 計

積算情報

工事名	市道鴨居線道路改良工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	公共 令和07年度
工種区分	道路改良工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 8年 1月 1日付 公共	単価地区	53:庄原市(旧東城町)
機損適用年月日	令和 7年度 公共・林道	歩掛適用年月日	令和 7年 8月 公共

補正情報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 一般交通影響有り(2)-2 現場管理費 …………… 一般交通影響有り(2)-2 現場環境改善費 …… 大都市・市街地以外
現場環境改善費	計上する
冬期補正	冬期補正無 (0.00%)
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

諸経費設定情報

名 称	値
【 週休2日補正 】	完全週休2日(土日)
【工区名称：道路改良工事01】	
[共通設定]	
施工地域	一般交通影響有り(2)-2
前払金支出割合区分	35%を超え40%以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合
工事価格端数調整	千円止め
現場環境改善費計上区分	計上する
諸経費を前回金額に固定	前回金額に固定しない
[共通仮設費]	
率指定	しない
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め
[現場環境改善費]	
率指定	しない
施工地域区分	大都市・市街地以外
乗算補正(*n)	0
加算補正(+n) (%)	0
[現場管理費]	
率指定	しない
施工時期、工事期間による補正	行わない
緊急工事補正	緊急工事補正無
補正率合計値の上限 (%)	0
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0
加算補正(+n) (%)	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
道路改良工事01	1	式				
道路改良	1	式			Lv1	処:
道路土工	1	式			Lv2	
掘削工	1	式			Lv3	
掘削	1	式			Lv4	
掘削 小規模 土砂 標準	30	m3			P 1号	
路体盛土工	1	式			Lv3	
路肩盛土	1	式			Lv4	
路体(築堤)盛土 2.5m未満	10	m3			P 2号	
防草コンクリート	1	式			Lv3	
張りコンクリート	1	式			Lv4	
コンクリート打設工(防草コンクリート) クレーン機能付きバックホウ 18-8-20(25) W/C60% 目地材有り	81	m2			施 3号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
養生工(防草コンクリート)	81	m2			施 4 号	
残土処理工	1	式			Lv3	
土砂等運搬	1	式			Lv4	
土砂等運搬 小規模 バック杣山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 13.0km以下 DID区間無 タイヤ損耗費(良好)含む	40	m3			P 5 号	
残土等処分	1	式			Lv4	
整地 残土受入れ地での処理	40	m3			P 6 号	
石・ブロック積(張)工	1	式			Lv2	
作業土工	1	式			Lv3	
床掘り	1	式			Lv4	
床掘り 土砂 小規模	10	m3			P 7 号	
埋戻し	1	式			Lv4	
埋戻し 小規模 土砂	4	m3			P 8 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)	1	式			Lv3	
現場打基礎コンクリート	1	式			Lv4	
2号基礎コンクリート 18-8-40	20	m			単 9 号	
コンクリート(間知)ブロック積	1	式			Lv4	
コンクリートブロック積工 JIS滑面 150kg/個未満 昼間 時間制約無 練積 裏込コンクリート有	32	m2			施 10 号	
石積(張) 積工 練石 玉石	1	m2			P 11 号	
胴込・裏込材(砕石)	1	式			Lv4	
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック 再生砕石 RC-40	8	m3			P 12 号	
排水構造物工	1	式			Lv2	
作業土工	1	式			Lv3	
床掘り	1	式			Lv4	
床掘り 土砂 小規模	20	m3			P 7 号	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
埋戻し	1	式			Lv4	
埋戻し 小規模 土砂	10	m3			P 8 号	
側溝工	1	式			Lv3	
プレキャスト側溝	1	式			Lv4	
プレキャストL形側溝(製品長0.6m/個)据付 PL2-300(500×155×600) 基礎砕石有り	74	m			P 13 号	
構造物撤去工	1	式			Lv2	処:
構造物取壊し工	1	式			Lv3	
舗装版切断	1	式			Lv4	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	2	m			P 14 号	
舗装版破碎	1	式			Lv4	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚15cm以下 障害等無し 積込作業有 騒音振動対策不要	76	m2			P 15 号	
運搬処理工	1	式			Lv3	処:

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
殻運搬	1	式			Lv4	
殻運搬 舗装版破碎 機械 騒対不要、厚15cm超又は必要 19.5km以下 DID区間無 タイ損耗費(良好)含む	3	m3			P 16 号	
殻処分	1	式			Lv4	処:
再資源化施設受入費 アス塊 10t, 4t, 2t 前田道路㈱ 東城合材工場 庄原市東城町	7	t				処:
舗装	1	式			Lv1	
舗装工	1	式			Lv2	
アスファルト舗装工	1	式			Lv3	
下層路盤(車道・路肩部)	1	式			Lv4	
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚90mm 1層施工 再生クランチャー RC-40	28	m2			P 17 号	
上層路盤(車道・路肩部)	1	式			Lv4	
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚70mm 1層施工 粒度調整砕石 M-30	28	m2			P 18 号	
表層(車道・路肩部)	1	式			Lv4	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員1.4~3.0m以下 タックコート 締固密度2.35	296	m2			P 19号	
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13) 平均幅員1.4m未満 プライムコート 締固密度2.35	28	m2			P 20号	
加熱合材補修工 5t以上20t未満	17	t			施 21号	
道路付属施設工	1	式			Lv2	
道路付属物工	1	式			Lv3	
視線誘導標	1	式			Lv4	
視線誘導標設置 Co(穿孔無) 片面φ300 φ60.5 施工規模10本未満 時間制約無 夜間作業無	3	本			施 22号	
視線誘導標設置 土中 片面φ300 φ60.5 施工規模10本未満 時間制約無 夜間作業無	2	本			施 23号	
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				一般交通影響有り(2)-2

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明 細 単 価 番 号	基 準
現場環境改善費率分	1	式				大都市・市街地以外
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				一般交通影響有り(2)-2
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				金銭的保証を必要とする
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計	1	式				

市道鴨居線道路改良工事

【 第 1 号 施工パッケージ 】							
掘削 小規模 土砂 標準							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			26.01				
バックホウ(クローラ型) [標準型・排対型:2次基準] 標準バケット 山積0.28m ³ [平積0.2m ³]			26.01				
【労務】			62.89				
運転手 (特殊)			62.89				完全週休2日(土日)
【材料】			11.10				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			11.10				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J6] = 7 施工数量 標準			[J2] = 5	施工方法 上記以外(小規模)			

市道鴨居線道路改良工事

【 第 2 号 施工パッケージ 】							
路体(築堤)盛土 2.5m未満							
1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			0.66				
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t			0.66				
【労務】			99.11				
普通作業員			90.70				完全週休2日(土日)
特殊作業員			8.41				完全週休2日(土日)
【材料】			0.23				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			0.23				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 施工幅員 2.5m未満							

市道鴨居線道路改良工事

【 第 3 号 施工単価表 】						
コンクリート打設工(防草コンクリート) クレーン機能付きバックホウ (18-8-20(25) W/C60% ,目地材有り)						100 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				完全週休2日(土日)
特殊作業員		人				完全週休2日(土日)
普通作業員		人				完全週休2日(土日)
生コンクリート 18-8-20(25) W/C60% 高炉	8.47	m3			施 24 号	
バックホウ運転(クレーン機能付)(賃料) クローラ型 山積0.28m3(平積0.2) 排対型:3次基準		日				
諸 雑 費 (率+丸め)		%				
労務費の% 計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 3 対象構造物 防草コンクリート			[B] = 1 施工区分	クレーン機能付きバックホウ		
[N1] = 1 生コンクリート規格 18-8-20(25) W/C60%			[N2] = 2 セメント種別	高炉B種		
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			[Ny] = 1 生コン夜間割増計上区分	夜間割増計上無し		
[C] = 7.000 m3 生コンクリート使用量			[D] = 2 目地材の有無	有り		
[x2] = 4 バックホウ規格区分 排対型:3次基準						

市道鴨居線道路改良工事

【 第 4 号 施工単価表 】						
養生工(防草コンクリート)						100 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				完全週休2日(土日)
普通作業員		人				完全週休2日(土日)
諸 雑 費 (率+丸め)						
労務費の%		%				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 2 対象構造物 防草コンクリート						

市道鴨居線道路改良工事

【 第 5 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 小規模 ハックホ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 (13.0km以下 DID区間無 ,タイヤ損耗費(良好)含む)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			26.52				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級			26.52				
【労務】			61.90				
運転手(一般)			61.90				完全週休2日(土日)
【材料】			11.58				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			11.58				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2 土砂等発生現場 小規模 [J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む) [JD] = 11 運搬距離 13.0km以下			[J2] = 5 [J4] = 1	積込機種・規格 DID区間の有無	ハックホ山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間無		

市道鴨居線道路改良工事

【 第 6 号 施工パッケージ 】							
整地 残土受入れ地での処理							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			22.45				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3, 2011, 2014			22.45				
【労務】			52.33				
運転手 (特殊)			52.33				完全週休2日(土日)
【材料】			25.22				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			25.22				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 作業区分 残土受入れ地での処理							

市道鴨居線道路改良工事

【 第 7 号 施工パッケージ 】							
床掘り 土砂 小規模							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			18.73				
バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・排対:2次] 標準バケット 山積0.28m3[平積0.2m3]			18.73				
【労務】			74.16				
運転手(特殊)			40.26				完全週休2日(土日)
普通作業員			33.90				完全週休2日(土日)
【材料】			7.11				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			7.11				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土質 土砂 [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J2] = 5	施工方法 上記以外(小規模)			

市道鴨居線道路改良工事

【 第 8 号 施工パッケージ 】							
埋戻し 小規模 (土砂 ,)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			8.87				
バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・排対:2次] 標準バケット 山積0.28m3[平積0.2m3]			8.27				
タンパ° 及びびランマ[ランマ] 質量 60~80kg			0.60				
【労務】			87.15				
普通作業員			50.03				完全週休2日(土日)
特殊作業員			19.35				完全週休2日(土日)
運転手(特殊)			17.77				完全週休2日(土日)
【材料】			3.98				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			3.14				
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			0.84				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 5 施工方法 上記以外(小規模)				[J2] = 1 土質 土砂			

市道鴨居線道路改良工事

【 第 10 号 施工単価表 】						
コンクリートブロック積工 JIS滑面 150kg/個未満 (昼間 時間制約無 , 練積 裏込コンクリート有)						1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
昼間_ブロック積工【手間のみ】						
時間的制約なし コンクリートブロック積工	1	m2				完全週休2日(土日)
積ブロック JIS滑面 150kg/個未満	1	m2				
生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉	0.358	m3			施 26 号	
諸 雑 費 (丸め)						
計	1	式				
単位当たり						
[条件]						
[G] = 1 コンクリート積ブロックの規格 JIS滑面 150kg/個未満			[B] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 1 練積・空積区分 練積			
[E] = 1 裏込コンクリート施工区分 裏込コンクリート有			[F] = 0.320 m3 胴込・裏込コンクリート使用量			
[N1] = 18 生コンクリート規格 18-8-40 W/C60%			[N2] = 2 セメント種別 高炉B種			
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし			[I] = 0.000 m3 胴込砕石使用量			

市道鴨居線道路改良工事

【 第 11 号 施工パッケージ 】							
石積(張) 積工 練石 玉石							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			6.78				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排対型1,2,3次 低騒音			6.78				
【労務】			89.95				
普通作業員			44.62				完全週休2日(土日)
運転手(特殊)			25.36				完全週休2日(土日)
石工			15.03				完全週休2日(土日)
[参考値] 土木一般世話役			4.94				完全週休2日(土日)
【材料】			3.27				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			3.27				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 積張の区分 積工 [J3] = 1 石の種類 玉石				[J2] = 1 構造区分 練石			

市道鴨居線道路改良工事

【 第 12 号 施工パッケージ 】							
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック (再生砕石 RC-40 ,)							1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			9.31				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014			9.31				
【労務】			67.69				
普通作業員			35.39				完全週休2日(土日)
特殊作業員			19.69				完全週休2日(土日)
運転手(特殊)			12.06				完全週休2日(土日)
その他(労務)							
【材料】			23.00				
再生クラッシュラン 40~0mm			18.87				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			4.13				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 ブロックの種類 間知・平・連節・緑化ブロック				[J2] = 1 胴込・裏込材規格	再生砕石 RC-40		

市道鴨居線道路改良工事

【 第 13 号 施工パッケージ 】							
フレキストL形側溝(製品長0.6m/個)据付 PL2-300(500×155×600)							1 m 当り
(基礎砕石有り ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			8.08				
バックホウ(クローラ) [標・超低・C機・排:2014年規制] 標準バケット 山積0.5m ³ [平積0.4m ³]2.9t吊			6.03				
その他(機械)							
【労務】			58.72				
普通作業員			24.53				完全週休2日(土日)
土木一般世話役			9.96				完全週休2日(土日)
運転手(特殊)			6.31				完全週休2日(土日)
特殊作業員			3.03				完全週休2日(土日)
その他(労務)							
【材料】			33.20				
鉄筋コンクリートL形(JISA5372)300 500×155×600 参考質量65kg			30.59				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			1.95				

市道鴨居線道路改良工事

【 第 14 号 施工パッケージ 】

舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下

1 m 当り

名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			15.05				
コンクリートカッタ[ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級 ブレード径φ56cm			10.24				
その他(機械)							
【労務】			58.43				
特殊作業員			19.96				完全週休2日(土日)
土木一般世話役			10.88				完全週休2日(土日)
普通作業員			8.92				完全週休2日(土日)
その他(労務)							
【材料】			26.52				
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)			22.39				
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			2.81				
その他(材料)							

市道鴨居線道路改良工事

【 第 15 号 施工パッケージ 】							
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚15cm以下 (障害等無し 積込作業有 ,騒音振動対策不要)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			12.85				
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排対型1,2,3次 低騒音			12.85				
【労務】			81.24				
土木一般世話役			29.54				完全週休2日(土日)
運転手(特殊)			27.52				完全週休2日(土日)
普通作業員			24.18				完全週休2日(土日)
【材料】			5.91				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			5.91				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 舗装版種別 アスファルト舗装版			[J2] = 1	障害等の有無 無し			
[J3] = 1 騒音振動対策 不要			[J4] = 4	舗装版厚 15cm以下			
[J6] = 1 積込作業の有無 有り			[J7] = 1	費用の内訳 全ての費用			

市道鴨居線道路改良工事

【 第 16 号 施工パッケージ 】							
殻運搬 舗装版破碎 機械 騒対不要、厚15cm超又は必要 (19.5km以下 DID区間無 , タイヤ損耗費(良好)含む) 1 m3 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			44.05				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級			44.05				
【労務】			39.87				
運転手(一般)			39.87				完全週休2日(土日)
【材料】			16.08				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			16.08				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 3 殻発生作業 舗装版破碎			[J2] = 2	積込工法区分	機械 騒対不要、厚15cm超又は必要		
[J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無			[J8] = 11	運搬距離	19.5km以下		
[JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用							

市道鴨居線道路改良工事

【 第 17 号 施工パッケージ 】							
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚90mm 1層施工 (再生クラッシュラン RC-40 ,)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			5.72				
モータグレーダ〔土工用・排対型2014年規制〕 プレート幅3.1m			3.95				
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排対型1,2次基準			0.49				
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排対型2014 超低騒音			0.49				
その他(機械)							
【労務】			18.33				
運転手(特殊)			8.06				完全週休2日(土日)
普通作業員			2.95				完全週休2日(土日)
特殊作業員			2.63				完全週休2日(土日)
土木一般世話役			2.16				完全週休2日(土日)
その他(労務)							
【材料】			75.95				

市道鴨居線道路改良工事

【 第 17 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚90mm 1層施工 (再生クラッシュラン RC-40 ,)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
再生クラッシュラン 40~0mm			74.21				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			1.50				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 90.000 mm 全仕上り厚 [J3] = 6 材料 再生クラッシュラン RC-40			[J2] = 1 [J4] = 1	施工区分 1層施工 費用の内訳 全ての費用			

市道鴨居線道路改良工事

【 第 18 号 施工パッケージ 】							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚70mm 1層施工 (粒度調整砕石 M-30 ,)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			11.57				
モータグレーダ〔土工用・排対型2014年規制〕 プレート幅3.1m			7.99				
〈賃〉ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排対型1,2次基準			1.00				
〈賃〉タイヤローラ 質量13～14t 排対型2014 超低騒音			0.99				
その他(機械)							
【労務】			37.08				
運転手(特殊)			16.31				完全週休2日(土日)
普通作業員			5.97				完全週休2日(土日)
特殊作業員			5.32				完全週休2日(土日)
土木一般世話役			4.37				完全週休2日(土日)
その他(労務)							
【材料】			51.35				

市道鴨居線道路改良工事

【 第 18 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚70mm 1層施工 (粒度調整砕石 M-30 ,)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
粒度調整砕石 30~0mm			47.84				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			3.03				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 10 材料 粒度調整砕石 M-30			[J4] = 70.000 mm	全仕上り厚			
[J5] = 1 施工区分 1層施工			[J7] = 1	費用の内訳 全ての費用			

市道鴨居線道路改良工事

【 第 19 号 施工パッケージ 】							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員1.4~3.0m以下,タックコート 締固密度2.35)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			1.70				
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排対型1,2次基準 低騒音			1.09				
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排対型1,2次基準 低騒音			0.22				
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排対型1,2次基準 低騒音			0.20				
その他(機械)							
【労務】			15.67				
普通作業員			5.35				完全週休2日(土日)
運転手(特殊)			3.65				完全週休2日(土日)
特殊作業員			3.57				完全週休2日(土日)
土木一般世話役			1.30				完全週休2日(土日)
その他(労務)							
【材料】			82.63				

市道鴨居線道路改良工事

【 第 19 号 施工パッケージ 】		(続 き)					
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生密粒度アスコン(13)				1 m2 当り			
(平均幅員1.4~3.0m以下,タックコート 締固密度2.35)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)			79.88				
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用			2.42				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			0.30				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件]							
[J2] = 30.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 3	平均幅員 1.4m以上3.0m以下			
[A1] = 11 材料 再生密粒度アスコン(13)			[J4] = 1	瀝青材料種類 タックコート PK-4			
[J6] = 1 費用の内訳 全ての費用			[A2] = 1	アスファルト混合物小型車割増 小型車割増なし			
[A3] = 1 アスファルト混合物夜間割増 夜間割増なし							

市道鴨居線道路改良工事

【 第 20 号 施工パッケージ 】							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員1.4m未満 ,プライムコート 締固密度2.35)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			0.43				
振動ローラ(舗装用)[ハンドガイト式] 運転質量0.5~0.6t			0.24				
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40~60kg			0.13				
その他(機械)							
【労務】			44.34				
特殊作業員			19.57				完全週休2日(土日)
普通作業員			14.05				完全週休2日(土日)
土木一般世話役			4.28				完全週休2日(土日)
その他(労務)							
【材料】			55.23				
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)			50.52				
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用			4.48				

市道鴨居線道路改良工事

【 第 20 号 施工パッケージ 】 (続 き)							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13) (平均幅員1.4m未満 ,プライムコート 締固密度2.35)							1 m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			0.17				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			0.03				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J2] = 40.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 1	平均幅員 1.4m未満 平均仕上厚50mm以下			
[A1] = 11 材料 再生密粒度アスコン(13)			[J4] = 3	瀝青材料種類 プライムコート PK-3			
[J6] = 1 費用の内訳 全ての費用			[A2] = 1	アスファルト混合物小型車割増 小型車割増なし			
[A3] = 1 アスファルト混合物夜間割増 夜間割増なし							

市道鴨居線道路改良工事

【 第 21 号 施工単価表 】						
加熱合材補修工 5t以上20t未満						
1 t 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				完全週休2日(土日)
特殊作業員		人				完全週休2日(土日)
普通作業員		人				完全週休2日(土日)
振動ローラ運転(賃料) (舗装用)搭乗式・コンバインド型2.4~2.6t 排対型:2次基準		日				
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	1	t				
諸 雑 費 (率+丸め)						
労務費の%		%				
計						
単位当たり						
[条件]						
[B] = 4 日当り施工量 5t以上20t未満			[ya] = 1	アスファルト混合物小型車割増 小型車割増なし		
[yc] = 1 アスファルト混合物夜間割増 夜間割増なし			[y1] = 4	加熱型混合物種別 再生密粒度(13mm)		
[Xc] = 3 振動ローラ規格区分 排対型:2次基準						

市道鴨居線道路改良工事

【 第 22 号 施工単価表 】						
視線誘導標設置 Co(穿孔無) 片面φ300 φ60.5 (施工規模10本未満 , 時間制約無 夜間作業無)						1 本 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
視線誘導標設置 Co建込用(穿孔含まない) 片面反射, 径φ300 【材工共】 道路付属物設置工	1	本				完全週休2日(土日)
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 24 規格・仕様 Co(穿孔無) 片面φ300 φ60.5			[B] = 3 施工規模	施工規模10本未満		
[C] = 1 時間制約 時間制約無			[D] = 1 夜間作業	夜間作業無		
[F] = 1 材料費区分 手間+材料費			[E] = 1 視線誘導	標規格(加算額)区分 標準タイプ		

市道鴨居線道路改良工事

【 第 23 号 施工単価表 】						
視線誘導標設置 土中 片面φ300 φ60.5 (施工規模10本未満 , 時間制約無 夜間作業無)						1 本 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
視線誘導標設置 土中建込用 片面反射, 径φ300 【材工共】 道路付属物設置工	1	本				完全週休2日(土日)
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件]						
[A] = 8 規格・仕様 土中 片面φ300 φ60.5			[B] = 3 施工規模	施工規模10本未満		
[C] = 1 時間制約 時間制約無			[D] = 1 夜間作業	夜間作業無		
[F] = 1 材料費区分 手間+材料費			[E] = 1 視線誘導	標規格(加算額)区分 標準タイプ		

市道鴨居線道路改良工事

【 第 24 号 施工単価表 】

生コンクリート 18-8-20(25) W/C60% 高炉

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-20(25) W/C(60%), 高炉	1	m3				
計						
単位当たり						
[条件]						
[N1] = 1 生コンクリート規格 18-8-20(25) W/C60%			[N2] = 2 セメント種別 高炉B種			
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし						

市道鴨居線道路改良工事

【 第 25 号 施工パッケージ 】							
現場打基礎コンクリート 基礎砕石有 1 m3 当り							
(18-8-40高炉60% , 一般・特殊養生(練炭))							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			2.09				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014			1.47				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3, 2011, 2014			0.62				
【労務】			67.80				
普通作業員			18.74				完全週休2日(土日)
型わく工			17.98				完全週休2日(土日)
土木一般世話役			10.22				完全週休2日(土日)
特殊作業員			10.17				完全週休2日(土日)
その他(労務)							
【材料】			30.11				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			25.85				
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油			1.42				

市道鴨居線道路改良工事

【 第 26 号 施工単価表 】

生コンクリート 18-8-40 W/C60% 高炉

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉	1	m3				
計						
単位当たり						
[条件]						
[N1] = 18 生コンクリート規格 18-8-40 W/C60%			[N2] = 2 セメント種別	高炉B種		
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし						

市道鴨居線道路改良工事				数量総括表(1/3)			
工種	種別	細別	規格	単位	計算過程の数値	設計計上数値	摘要
道路改良工事							
土工				式		1.0	
	掘削	片切掘削 W<5.0	礫質土	m3	28.0	30	
		オープン掘削 5.0≤W	中硬岩	m3	0.0	0	
		表土はぎとり	粘性土	m3	0.0	0	
	盛土	路体盛土	置換え盛土	m3	0.0	0	
		路体盛土	4.0≤W	m3	0.0	0	
		路肩盛土		m3	11.2	10	
		場外盛土		m3	0.0	0	
	残土処分		礫質土	m3	37.1	40	
			破碎岩	m3	0.0	0	
	法面整形工	盛土法面整形		m2	0.0	0	
		切土法面整形	礫質土	m2	0.0	0	
法面工				式		1.0	
	盛土法面	ワラ芝	1:1.5	m2	0.0	0	
	切土法面	植生マット(肥料袋付)	礫質土	m2	0.0	0	
	張コンクリート	1号	盛土肩	m2	81.4	81	
		2号	切土法尻	m2	0.0	0	
ブロック積工				式		1.0	
	作業土工						
	床掘		礫質土	m3	12.0	10	
			D	m3	4.0	4	
	基面整正		礫質土	m2			
	1号ブロック積擁壁						
	ブロック積	控350mm	裏コン t=15cm	m2		0	
	裏込コンクリート	t=150mm	18 N/mm2	m3		0	
	胴込コンクリート		18 N/mm2	m3		0	
	裏込碎石		RC-40	m3		0	
	目地材		t=10	m2		0	
	水抜きパイプ		VU 150	m		0	
	吸出防止材			枚		0	
	ガードレール基礎	1号		m		0	
	1号コンクリート基礎	裏コン t=150mm	碎石基礎	m		0	

市道鴨居線道路改良工事				数量総括表(2/3)			
費目	種別	細別	規格	単位	計算過程の数値	設計計上数値	摘要
	2号ブロック積擁壁						
	ブロック積	控350mm	裏コン t=10cm	m2	32.0	32	
	裏込コンクリート	t=100mm	18 N/mm2	m3		0	
	胴込コンクリート		18 N/mm2	m3		0	
	裏込砕石		RC-40	m3	8.0	8	
	目地材		t=10	m2		0	
	水抜きパイプ		VU 150	m		0	
	吸出防止材			枚		0	
	ガードレール基礎	2号		m		0	
	2号コンクリート基礎	裏コン t=100mm	砕石基礎	m	20.0	20	
	小口止工(1~12号)	コンクリート	18 N/mm2	m3		0	
		型 枠	一般型枠	m2		0	
	取付工	練石積	控え30cm	m2	1.0	1	
構造物撤去工				式			
	アスファルト取壊し		t=40mm	m2	75.8	76	
				m3	3.0	3	
			*2.35	t	7.0	7	
	舗装版切断			m	2.0	2	
	コンクリート取壊し			m3			
排水工				式		1.0	
	作業土工						
	床 掘		礫質土	m3	22.3	20	
	〃		軟岩2	m3	0.0	0	
	〃		中硬岩		0.0	0	
	埋戻し	D		m3	7.5	10	
	〃	D		m3	0.0	0	
	基面整正		礫質土	m2	45.1	45	
小型水路工							
	KF350	KF350		m	0.0	0	
	1号PU型側溝	PU3-B300-H300		m	0.0	0	
	1号L型水路	L1-B300-H300	1:0.3	m	0.0	0	
	2号L型水路	L1-B300-H300	1:0.5	m	0.0	0	
	6号L型側溝	PL2型	B300	m	74.4	74	
	管渠工	1号	重圧管-D350	m	0.0	0	
		2号	重圧管-D300	m	0.0	0	
	〃	4号	重圧管-D150	m	0.0	0	
				m	0.0	0	
	集水枳	1号		ヶ所	0.0	0	
	〃	3号		ヶ所	0.0	0	
	〃	11号		ヶ所	0.0	0	
	田面排水ボックス			ヶ所	0.0	0	
	1号取水工			ヶ所	0.0	0	

土量配分表

発生土

片切掘削(礫質土):C1(SE)=	28
片切掘削(軟岩1):C1(SR1)=	0
片切掘削(軟岩2):C1(SR2)=	0
片切掘削(中硬岩):C1(MHR)=	0
オープン掘削(礫質土):C2(SE)=	0
オープン掘削(軟岩1):C2(SR1)=	0
オープン掘削(軟岩2):C2(SR2)=	0
オープン掘削(中硬岩):C2(MHR)=	0
土質区分集計 : 礫質土(SE)=	28
軟岩1(SR1)=	0
軟岩2(SR2)=	0
中硬岩(MHR)=	0
掘削土量合計=	28.0

礫質土=11.2/0.90=12.4

流用土

路床盛土:B1-1=	0.0
":B1-2=	0.0
":B1-3=	0.0
":B1-4=	0.0
路体盛土:B2-1=	0.0
":B2-2=	0.0
":B2-3=	0.0
":B2-4=	0.0
路肩盛土: B3 =	11.2
場外盛土: B4 =	0.0
盛土合計: ΣB=	11.2

作業土工

ブロック積擁壁(礫質土):E(SE)=	12.0
ブロック積擁壁(軟岩1):E(SR1)=	0.0
中空型ブロック(礫質土):E(SE)=	0.0
中空型ブロック(軟岩1):E(SR1)=	0.0
重力式擁壁(礫質土):E(SE)=	0.0
用排水工(礫質土):E(SE)=	22.3
用排水工(軟岩1):E(SR1)=	0.0
用排水工(軟岩2):E(SR2)=	0.0
用排水工(中硬岩):E(MHR)=	0.0
付属施設工(礫質土):E(SE)=	0.0
土質区分集計 : 礫質土(SE)=	34.3
軟岩1(SR1)=	0.0
軟岩2(SR2)=	0.0
中硬岩(MHR)=	0.0
合計 =	34.3

礫質土=11.5/0.90=12.8

軟岩1=0.0/1.15=0

軟岩2=0/1.20=0

中硬岩=0/1.25=0

埋戻し

ブロック積:Fu(C-SE)=	4.0
ブロック積:Fu(D-SR1)=	0.0
中空型ブロック:Fu(C)=	0.0
中空型ブロック:Fu(D)=	0.0
重力式擁壁:Fu(D)=	0.0
用排水工:Fu(D-SE)=	7.5
用排水工:Fu(D-SR1)=	0.0
用排水工:Fu(D-SR2)=	0.0
用排水工:Fu(D-MHR)=	0.0
付属施設工:Fu(D)=	0.0
Fu(SE)=	11.5
Fu(SE/SR1)=	0.0
Fu(SR2)=	0.0
Fu(MHR)=	0.0
埋戻し合計: ΣFu=	11.5

残土処分

礫質土	掘削残土	28 - 12.4 =	15.6
	床掘残土	34.3 - 12.8 =	21.5
	仮設土		
	合計	ΣSE=	37.1
軟岩1	掘削残土	0.0 =	0.0
	床掘残土	0 - 0 =	0.0
	合計	ΣSR1=	0.0
軟岩2	掘削残土	0.0 =	0.0
	床掘残土	0 - 0 =	0.0
	合計	ΣSR2=	0.0
中硬岩	掘削残土	0.0 =	0.0
	床掘残土	0.0 - 0 =	0.0
	合計	ΣMHR=	0.0

区分

土量変化率:C

礫質土(SE) = 0.90

軟岩1(SR1) = 1.15

軟岩2(SR2) = 1.20

中硬岩(MHR) = 1.25

変化率考慮

残土処分

C 28.0

E 34.3

Fu 11.5

B3 11.2

礫質土

軟岩1

軟岩2

中硬岩

砕石

残土処分

37.1

計第 2 - 1 表

土 工

数量集計表

工種	規格	細別	単位	数量	備考
掘 削					
	片 切	礫質土	m3	28.0	C1 (SE)
		軟岩1	m3	0.0	C1 (SR1)
		軟岩2	m3	0.0	C1 (SR2)
		中硬岩	m3	0.0	C1 (MHR)
	オープン掘削	礫質土	m3	0.0	C2 (SE)
		軟岩1	m3	0.0	C2 (SR1)
		軟岩2	m3	0.0	C2 (SR2)
		中硬岩	m3	0.0	C2 (MHR)
	表土はぎ取り	粘性土	m3	0.0	C3 (E)
	置換え掘削		m3	0.0	C4 (SE)
盛 土	路 体	W<1.00	m3	0.0	B1-1
		1.0≤W<2.5	m3	0.0	B1-2
		2.5≤W<4.0	m3	0.0	B1-3
		4.0≤W	m3	0.0	B1-4
	路 床	W<1.00	m3	0.0	B2-1
		1.0≤W<2.5	m3	0.0	B2-2
		2.5≤W<4.0	m3	0.0	B2-3
		4.0≤W	m3	0.0	B2-4
	路肩盛土		m3	11.2	B3
	場外盛土		m3		B4
	仮設土		m3	0.0	
法面整形					
	盛土法面整形		m2	0.0	Lb
	切土法面整形	礫質土	m2	0.0	Lc (SE)
		軟岩1	m2	0.0	Lc (SR1)
		軟岩2	m2	0.0	Lc (SR2)
		中硬岩	m2	0.0	Lc (MHR)

測 点	距 離	C1(SE):片切(礫質土)			C2(SE):オープン(礫質土)			摘 要
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	
No. 35	20.0							
BC. 12	14.0							
No. 36	6.0							
SP. 12	5.6							
EC. 12	11.7							
BC. 13	16.6							
No. 38	6.1							
No. 39	20.0							
No. 39+12	12.0							
SP. 13	5.9							
No. 40	2.1							
No. 41	20.0	1.0	---	---				
EC. 13 (N042)	19.5	1.0	1.00	19.5				
	0.5	1.0	1.00	0.5				
		0.2	0.60	0.0				
NO. 43	3.0	0.2	0.20	0.6				
BC. 14 (NO. 44)	20.0	0.2	0.20	4.0				
	17.0	0.2	0.20	3.4				
SP. 14								
No. 46								
EC. 14 (NO. 47)		0.0	---	---				
No. 48	16.0	0.0	0.00	0.0				
BC. 15								
No. 49	20.0							
EC. 15	10.7							
No. 51	9.3							
No. 52	20.0							
BC. 16	5.9							
SP. 16	7.4							
EC. 16	7.4							
No. 54	19.3							
BC. 17	12.1							
No. 55	7.9							

測 点	距 離	B3:路肩盛土			L1:張コンクリート			摘 要
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	
No. 35	20.0							
BC. 12	14.0							
No. 36	6.0							
SP. 12	5.6							
	3.8							
BC. 13	16.6							
No. 38	6.1							
No. 39	20.0							
No. 39+12	12.0							
SP. 13	5.9							
No. 40	2.1							
No. 41	20.0							
EC. 13 (NO42)	19.5							
	0.5							
		0.2	---	---	1.4			
NO. 43	3.0	0.2	0.20	0.6	1.4	1.40	4.2	
BC. 14 (NO. 44)	20.0	0.2	0.20	4.0	1.6	1.50	30.0	
	17.0	0.2	0.20	3.4	1.6	1.60	27.2	
SP. 14								
No. 46								
EC. 14 (NO. 47)		0.2	---	---	1.1	---	---	
No. 48	16.0	0.2	0.20	3.2	1.4	1.25	20.0	
BC. 15								
No. 49	20.0							
EC. 15	10.7							
No. 51	9.3							
No. 52	20.0							
BC. 16	5.9							
SP. 16	7.4							
EC. 16	7.4							
No. 54	19.3							
BC. 17	12.1							
NO. 55	7.9							

測 点	距 離	C(As):アスファルト取壊し			C(Co):コンクリート取壊し			摘 要
		As幅	平均	面積	断面	平均	立積	
BC. 11								
SP. 11								
EC. 11								
No. 34								
No. 35								
BC. 12								
No. 36								
SP. 12								
EC. 12								
BC. 13								
No. 38								
No. 39								
No. 39+12								
SP. 13								
No. 40								
No. 41		0.9	---	---				
EC. 13 (NO. 42)	19.5	0.9	0.90	17.6				
No. 43	18.0	0.9	0.90	16.2				
BC. 14	19.7	0.9	0.90	17.7				
No. 45	23.0	0.9	0.90	20.7				
	4.0	0.9	0.90	3.6				
SP. 14								
No. 46								
EC. 14								
No. 48								
BC. 15								
合 計	84.2			75.8			0.0	
		アスファルト厚:t=			0.04			
		V=75.8×0.04=			3.0			

名称 及び 測点	作業土工													
	機械床掘				埋戻し						基面整正			
	E (SE)	E (SR1)	E (SR2)	E (MHR)	Fu (C)	Fu (D)				K (SE)	K (SR1)	K (SR2)	K (MHR)	
	礫質土	軟岩1	軟岩2	中硬岩	礫質土	礫質土	軟岩1	軟岩2	中硬岩	礫質土	軟岩1	軟岩2	中硬岩	
小型水路工	22.3	0.0	0.0	0.0	---	7.5	0.0	0.0	0.0	45.1	0.0	0.0	0.0	
管渠工	0.0	---	---	---	---	0.0	---	---	---	0.0	---	---	---	
集水樹	0.0	---	---	---	---	0.0	---	---	---	0.0	---	---	---	
	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m2	m2	m2	m2	
合 計	22.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0	45.1	0.0	0.0	0.0	
						7.5				45.1				

工種	規格	細別	単位	数量	備考
PU型側溝	1号	PU3-B300-H300	m	0.0	
〃	2号	PU3-B300-H300	m	0.0	1:0.4 ブロック
〃	3号	PU3-B300-H300	m	0.0	1:0.3 ブロック
〃	4号	PU1-B300-H300	m	0.0	
〃	5号	PU1-B300-H300	m	0.0	1:0.3 ブロック
L型水路	1号	L1-B300-H300	m	0.0	1:0.3 ブロック
〃	2号	L1-B300-H300	m	0.0	1:0.5 ブロック
	6号	PL2-B300型	m	74.4	
U型水路	1号	U1-B300-H300	m	0.0	
〃	2号	U1-B300-H300~400	m	0.0	
〃	3号	U1-B300-H300~500	m	0.0	
〃	4号	U1-B1000-H500	m	0.0	
堤外水路	1号	B300-H300	m	0.0	No. 11+4~BC. 4
〃	2号	B200-H200	m	0.0	No. 42+16.9~No. 45
角フリューム	1号	KF-350	m	0.0	
〃	2号	KF-300	m	0.0	
小段排水溝	1号	BF-B300-H200	m	0.0	
〃	2号	張コンクリート t=100	m	0.0	
縦排水溝		BF-B250-H175	m	0.0	
自由勾配側溝	1号	B300-H400~700	m	0.0	
〃	2号	B300-H500~700	m	0.0	
側溝蓋	コンクリート蓋	PC4-B300	枚	0.0	
グレーチング蓋	1号	T25-B300	枚	0.0	
〃	2号	T2-B300	枚	0.0	
管渠工	1号	重圧管 φ 350	m	0.0	
〃	2号	重圧管 φ 300	m	0.0	
〃	3号	重圧管 φ 200	m	0.0	
〃	4号	重圧管 φ 150	m	0.0	
〃	5号	P1-RC1-D350	m	0.0	
〃	6号	P1-RC1-D300	m	0.0	

工種	規格	細別	単位	数量	備考
管渠工	7号	P1-RC1-D150	m	0.0	
〃	8号	P2-RC1-D400	m	0.0	
〃	9号	ヒューム管φ350	m	0.0	
〃	10号	鋼管φ150	m	0.0	
地下排水溝		有孔管φ200	m	0.0	
底張工		t=200	m ²	0.0	V= 7.9 m ³
集水柵	1号	G1-B500-L500-H550	ヶ所	0.0	
〃	2号	G1-B500-L500-H600	ヶ所	0.0	
〃	3号	G1-B500-L500-H650	ヶ所	0.0	
〃	4号	G1-B500-L500-H750	ヶ所	0.0	
〃	5号	G1-B600-L600-H1300	ヶ所	0.0	
〃	6号	G1-B500-L500-H550	ヶ所	0.0	1:0.4 ブロック
〃	7号	G1-B500-L500-H900	ヶ所	0.0	1:0.4 ブロック
〃	8号	G1-B600-L600-H1350	ヶ所	0.0	
〃	9号	G2-B500-L500-H500	ヶ所	0.0	
〃	10号	G2-B500-L500-H550	ヶ所	0.0	
〃	11号	G2-B500-L500-H600	ヶ所	0.0	
〃	12号	G2-B500-L500-H650	ヶ所	0.0	
〃	13号	G2-B500-L500-H450	ヶ所	0.0	小段部
田面排水ボックス			ヶ所	0.0	
1号角落し		W440-H200、W440-H300	ヶ所	0.0	
1号取水工		W300-H300、W300-H100	ヶ所	0.0	

6号 L型側溝

	延長	測 点	延長	測 点	延長
(右側)		(右側)		(右側)	
No. 29		No. 46+5. 4		No. 54+8. 8	
No. 30		EC. 14		BC. 17	
No. 31		No. 46+18. 9		No. 55	
No. 32		小 計	0. 0	SP. 17	
BC. 11				No. 56	
No. 32+12. 6		No. 48+17. 0		EC. 17	
小 計	0. 0	No. 49		No. 58	
No. 32+13. 4		SP. 15		No. 59	
SP. 11		No. 50		No. 59+9. 9	
No. 33+0. 3		EC. 15		小 計	0. 0
小 計	0. 0	No. 51		No. 59+10. 7	
No. 36+15. 6		No. 52		BC. 18	
EC. 12		No. 52+5. 7		No. 61	
BC. 13		小 計	0. 0	No. 62	
No. 38				EC. 18	
No. 39		BC. 16		No. 63	
No. 39+12. 0		No. 52+11. 6		No. 63+12. 7	
SP. 13		小 計	0. 0	小 計	0. 0
No. 40				No. 61+8. 7	
No. 41		No. 52+12. 4		No. 62	
No. 41+10. 4		SP. 16		EC. 18	
小 計	0. 0	EC. 16		No. 63	
No. 41+11. 2		No. 54			
EC. 13	9. 9	No. 54+8. 0		小 計	0. 0
No. 43	18. 1	小 計	0. 0		
BC. 14	20. 1			No. 64	
No. 45	22. 8	No. 63+13. 3		BC. 19	
No. 45+2. 8	3. 5	”		No. 64+6. 9	
小 計	74. 4	小 計	0. 0	小 計	0. 0
				合 計	74. 4

測 点	距 離	車道(表層:t=30)			車道(上層路盤:t=70)			車道(下層路盤:t=90)		
		W1	平均	面積	W2	平均	面積	W3	平均	面積
No. 40										
No. 41										
		0.80	---	---	0.00	---	---	0.00	---	---
EC. 13	9.9	0.80	0.80	7.9	0.40	0.20	2.0	0.40	0.20	2.0
No. 43	18.1	1.80	1.30	23.5	0.40	0.40	7.2	0.40	0.40	7.2
BC. 14	20.1	1.70	1.75	35.2	0.40	0.40	8.0	0.40	0.40	8.0
No. 45	22.8	1.50	1.60	36.5	0.40	0.40	9.1	0.40	0.40	9.1
	3.5	1.50	1.50	5.3	0.40	0.40	1.4	0.40	0.40	1.4
SP. 14	7.0	2.90	2.20	15.4						
No. 46	11.8	3.10	3.00	35.4						
EC. 14	19.5	3.50	3.30	64.4						
No. 47+2.50	3.8	3.50	3.50	13.3						
No. 47+15.80	13.3	3.50	3.50	46.6						
No. 48	4.2	2.40	2.95	12.4						
BC. 15	8.7									
No. 48+17.00	8.3									
No. 49	3.0									
No. 49+2.00	2.0									
SP. 15	7.7									
No. 50	10.3									
EC. 15	10.7									
No. 51	9.3									
No. 52	20.0									
BC. 16	5.9									
SP. 16	7.4									
EC. 16	7.4									
No. 54	19.3									
BC. 17	12.1									
No. 55	7.9									
合計	274.0			295.9			27.7			27.7

計第 129 - 1 表

道路附属施設工

数量集計表

工種	規格	細別	単位	数量	備考
作業土工	床掘	礫質土	m3	0.0	
	埋戻し	D	m3	0.0	
	基面整正	礫質土	m2	0.0	
防護柵	ガードレール	Gr-C-2B	m	0.0	
		Gr-C-2B 曲柱	m	0.0	
		Gr-C-4E	m	0.0	
	転落防止柵	H=1100	m	0.0	
芝台ブロック	1号	H=500	m	0.0	基礎碎石
	2号	H=500	m	0.0	均しコンクリート
フトン籠		1200×2000×600	枚	0.0	
プレキャストスラブ	T-2	L1000-B3400	ヶ所	0.0	
タラップ			ヶ所	0.0	
区画線	外側線		m	0.0	
視線誘導標	Φ300mm	土中用	基	2.0	NO. 41付近
		構造物用	基	3.0	